

臨時版

田辺籠城戦・大手での合戦 《前編》

三年ぶりに出現した石垣と大手の遺構です。

【遺構については、

今年の七月、西舞鶴

の田辺城跡第三次発

掘調査によって、細川

幽齋時代の田辺城の大

手口(城の正面の入口)

と石垣が発見されまし

た。

この遺構は石材が取り

出されたあと埋め戻

され、住宅地となりま

す。このいきさつにつ

いては、まいちけん

(舞鶴地方史研究会の

ホームページ、ツイッ

ターなどを)ご覧ください。

ここでは、今回発掘

された遺構の価値を広

く知っていただくため

に、「コラム」舞鶴の山

とです。

①慶長五年(一六〇

〇)七月二日、南大

手の方の公文名とい

う所に、敵の赤松左兵

衛、山崎左馬助、小出

大和守の家来や母衣武

者が多くいて、城に向

かって馬を駆け廻し、

威勢をあげていた。

妙庵様(幽齋の三男)

が大手門の外の杉の馬

場からご覧になり、鉄

炮を撃ってみよと仰せ

になったので、三刀谷

四兵衛、大野弥十郎、

上羽小右衛門、村野庄

助、上林助兵衛、日置

みな躊躇していたとこ



多くの見学者が集まった発掘説明会

敵の眼前で橋板をはずし、 悠々と大手へ引き上げる

手)まで追い詰めた。

このとき敵の徒士の

者一人を上羽小右衛門

が討ち取った。

③七月三日の朝、

杉の馬場の頭に茶屋が

あるのを焼き払えと幽

齋様が仰せになったの

で誰がするかと言って

いるうちに、矢野七

郎、上羽小右衛門が出

て焼き払った。

④七月二四日の夜に

なって、延寿寺口八町

の橋をはずすよう幽齋

様が仰せになったが、

敵のごく近くなので、

みな躊躇していたとこ

善兵衛、加藤新助、北

村甚太郎、同勘三郎ら

は伊佐津の村先に出て

上羽小右衛門が出て、

夜十時頃橋をはずした。

このとき橋板が一枚

残っていたので、三刀

谷四兵衛が跡に残って

敵に尻を向けて橋板を

はずし、静かに帰って

きた。(後編に続く)

※題字は松岡秀雄さん

この物語が展開され

た舞台こそ、今回四二

〇(一)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】

01)まで】